

## 0370 | デザイン史

2 単位 (通信授業 2 単位)

木田拓也教授、新川徳彦講師

## 授業の概要と目標

産業革命以降の近代社会において、モノのデザインは人とどう関わることになったのか。いわゆる近代デザインの運動が新しい産業社会に対して様々なアプローチを試みる一方で、消費社会には膨大なモノが氾濫し、人々の欲望を喚起させてきた。単なるデザイナーやその作品の理解にとどまらない幅広いデザイン認識の中で 19～20 世紀という時代背景を理解しながら、デザインが人々の日常生活をどのように変えていったのかの歴史を学ぶ。

## 課題の概要

## ○通信授業課題 1

モダン・デザインの運動を下記の選択群の中からひとつ取り上げ、モダン・デザインのプロジェクト全体が目指したものと関連の中で論じなさい。

選択群:「アーツ・アンド・クラフツ」「アール・ヌーヴォー」「未来派」「デ・ステイル」「ドイツ工作連盟」「バウハウス」「アメリカのインダストリアル・デザイン」「ロシア・アヴァンギャルド」「アール・デコ」「ポストモダン」

## ○通信授業課題 2

モダン・デザインと深く関わる「人物」をひとり取り上げ、社会との関わりについて触れながら、その歴史的な位置づけを自分の視点から論じなさい。

\*課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

## 授業計画

## [通信授業]

主に教科書を使用する。

- 序論 「デザイン史の現在」  
 1 章 -1 「近代デザインにむかって」  
 1 章 -2 「近代デザインの展開」  
 2 章 「グラフィックデザイン」  
 3 章 「エディトリアルデザイン」  
 4 章 「ファッションデザイン」  
 5 章 「クラフトデザイン」  
 6 章 「プロダクトデザイン」  
 7 章 「建築」  
 おわりに「モダニズムの展望」

## 成績評価の方法

## ◎科目試験

教科書の該当部分を中心に出題する(記述式)。

## 履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

学芸員過程の設定科目であり、資格取得希望者は 1～3 年次に履修することが望ましい(旧課程履修者は除く)。

## 教材等

教科書: 柏木博編『近代デザイン史』(武蔵野美術大学出版局)  
 学習指導書: 『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』  
 (武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)

## その他

参考文献は、学習指導書の「参考資料」欄を見ること。